

正しい眼鏡が世界を変える アイメトリクス

一昔前の映画のシーンなどに登場する日本人は、その象徴として、眼鏡・カメラ・お辞儀が欠かせないものだった。現代に時を進めても、眼鏡やコンタクトレンズなどを使用する日本人は非常に多い。では、なぜ眼鏡をかけるのか？

ファクションのためのいわゆる伊達眼鏡をかける人も一部にはいるだろうが、多くの場合は視力矯正のために眼鏡をかけると答える人が多いだろう。

眼鏡、もつと具体的にいえば、視力矯正のための度付き眼鏡レンズは、薬事法上でも「一般医療機器」に分類されているものだ。眼鏡は本来、視力矯正や目を保護するという目的のための医療機器であって、逆説的にいえば医療機器である以上は、自分に正しく適合した製品を、正しく使うことが求められているものだ。

眼鏡発祥の地とされるヨーロッパでは、厳密な制度下による眼鏡専門店や検眼の専門士など、眼鏡を視力矯正のための医療器具として正しく用いるシステムが確立されているが、果たして日本ではどうだろうか。

日本人にとって眼鏡は余りに身近なものであるから、本来の眼鏡の意味、眼鏡をかける目的が希薄になってしまっており、本来の視力矯正という目的が軽視されている印象が否めない。

人間にとって視力は非常に大切なものであるが、実は非常に悪化させやすいものでもある。もう少し視力をケアする意識を高める必要があるのではなからうか。そしてその第一歩が、「眼鏡を正しく作って、正しくかける」という基本的な取組みだ。

でもアイメトリクス社だけが構築している。正しく作られた眼鏡とは、そういうことだ。そしてアイメトリクスは、正しい眼鏡を更に進化させるべく、オリジナルのフルオーダー眼鏡レンズ「アイメトリクス EYE-Z レンズ」を発売した。

眼鏡レンズのフルオーダー？と言われても分かりにくいかもしれないが、簡単にいえば、目の中心とレンズの中心を合わせることで、目の中心とレンズの中心を合わせることで、

レンズには中心があって、本来は目の中心とレンズの中心、そしてその角度までが合わなければならない。目の中心とレンズの中心が合っていないと、収差などいろいろな不具合が出るのだけれど、人間ひとりひとりの目の位置は千差万別だから、これまでは諦めてきたことだった。カメラレンズの場合は複数枚のレンズで収差の補正をしているが、眼鏡レンズは1枚のレンズで同様の補正をこなすにはならないから、各人に合わせるオーダーメイドレンズの真価が活かされることになる。

ヨーロッパでは既に一般化しているフルオーダー眼鏡レンズを、日本にも普及させようと立ち上がったのがアイメトリクス。これまでの眼鏡レンズといえば、度数と厚さを選ぶのがせいぜいだったが、これからは完全にその人のために設計制作されるオーダーメイドレンズの時代がやってくることになる。

なぜなら、一度オーダーメイドレンズの快適性と視認性を知ってしまったら、これまでの既製レンズでは全く我慢できなくなるほどの違いがあるからだ。映像でいえば8Kの世界、音楽でいえばハイレンズほどの差がそこにはある。



ALG-6
EYEMETRICS

この眼鏡本来の目的に、忠実に真摯に取り組むメーカーが日本にもある。

ヨーロッパを発祥とする眼鏡ブランド「アイメトリクス」だ。

アイメトリクスといえば、野球の古田選手やプロゴルファーの倉本昌弘選手が会長が使っている眼鏡としても知られているが、スポーツだけではなく多くのプロの現場でも愛用者が増えている。

私の友人の歯科医もアイメトリクス愛用者で、長時間の診療でも目の疲労感が格段に違うという。実際、過酷な勤務を強いられる多くの医療現場でアイメトリクス愛用者が増えているのは、正しい視力矯正器具としての機能が認められているからであろう。

アイメトリクスは、オーダーメイドでつくられる眼鏡だ。 アイメーターと呼ばれる三次元立体計測器で顔を計測し、そのデータを元に各人の顔形に合ったものを作りあげる。

だから新しい眼鏡を買った際にお決まりの眼鏡のフィッティングが無い。

アイメトリクスの場合、最初から各人の顔形に合わせて作ってあるから、フレームを曲げたり広げたりするフィッティングの必要がないのだ。このようなシステムは世界

も一度言おう。

眼鏡は本来、視力を矯正したり目を保護するための医療器具である。

この目的を忘れた眼鏡選びをもう一度再考するべき時期がやってきている。

世界に冠する大きな眼鏡マーケットである日本は、量的市場から質的市場に変遷すべき時が迫っている。そしてこの質的市場への変化は、眼鏡をかける我々ユーザーの視界を大きく変えることになるであろう。

そしてその大きな第一歩を踏み出した眼鏡ブランドであるアイメトリクスこそ、眼鏡の世界の最先端企業ということになる。時代なんて、パッと変わるかもしれない。

Eyemetrics Corinth × EYE-Z

アイメトリクス コリント + アイジーレンズ

レンズをフルオーダーして、目を守る

文◎福水託 text by Taku Fukumizu

写真のモデル

アイメトリクス Corinth(コリント) + EYE-Z レンズ(調光機能付)

Corinthはアイメトリクスのニュースタンダードモデルとして、シンプルで無駄のない、しかし細部の作り込みまでこだわった人気の製品。眼鏡の存在を忘れるほどの自然なかけ心地は正にアイメトリクスの真骨頂ともいえる。

EYE-Zレンズ(調光機能付)は、各人に合わせて1枚1枚設計され作成されるフルオーダーメイドの眼鏡レンズ。その快適性視認性は、8K級。合わせて紫外線に反応して無色からサングラスカラーに色が変わる調光機能がオプションで選べ、グレーとブラウンを用意。写真のモデルはグレー。

価格 Corinth フレーム 36000円 3D フォーム EYE-Z レンズ 56000円 調光オプション 8000円